

《各学部におけるキャリア教育の取り組みを紹介します》

会津支援学校ではキャリア発達課題として、社会形成能力（かかわる力・コミュニケーション力）を重視しています。以下のように、小学部から経験を積み重ねながら社会形成能力を少しずつ向上させていきます。小学部入学から高等部卒業まで一貫した意識（積み重ね）で支援を継続しています。

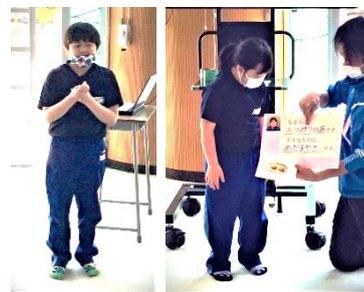
今回は社会形成能力の一部の（かかわる力・コミュニケーション力）を取り上げます。

- **高等部** 場に応じた適切な言葉や態度で接し自分から挨拶したり、気持ちを伝えたりする。
- **中学部** 周囲の人に自分から気持ちを伝えたり、場に応じた挨拶をしたりする。
- **小学部** 自分なりの方法で、挨拶したり気持ち等を伝えたりする。

「キャリア発達の視点で生徒の能力を育てる」という意識で、同じ能力を段階的に積み重ねます。

<小学部4学年、学年スタートの会>

小学部では、新年度となり、新しい教師や学級の友達と一緒に1年間頑張っていこうという決意をもつ、「学年スタートの会」を行いました。自己紹介では、写真や絵を使って教師と一緒に自分のことを話したり、話す内容を事前に教師と話し合い、好きなことなどの自分の気持ちを確認したりすることができました。参加した児童は発表する友達の話に関心を抱き、友達の好きな物や好きな活動を聞いて、「そうなんだ。」と相づちする姿が見られました。また、どの児童も自分の方法を用いて、みんなの前で挨拶をすることができました。そして、学年としてのまとまりを意識する気持ちを高めることができました。



<中学部作業学習>

中学部の作業学習は、「家庭班」と「工芸班」の二つに分かれて学習しています。4月の第1回目の学習では、1年生は緊張した様子もみられましたが、2・3年生から教えてもらいながら道具の扱い方などを練習しました。特に3年生は、自信をもって「これを使うんだよ。」などと優しく教える姿が見られました。

分からないときは「教えてください。」、困ったときは「手伝ってください。」、作業が終わった時は「できました。」といった、場に応じた伝え方の学習をしています。



<高等部作業学習>

高等部の作業学習は、「木工班」、「手工芸班」、「陶芸班」、「リサイクル班」、「農芸班」、「クリーン班」、「サービス班」の七つの班に分かれて学習しています。新しく加わった1年生は、朝礼で作業の流れや注意点を確認し、2・3年生に作業工程を教えてもらいながら活動に取り組んでいます。



木工班の1年生からは、「報告や確認をするときに緊張しました。」「木工製品のツールを組み立てる際に、どのようにねじ止めの作業を行うのか楽しみです。」と今の気持ちや感想が聞かれました。緊張しつつも新たな活動に大きな期待感を抱いている新1年生です。

